

サポセン mail No.154. 2015.12.27 発行

〈発行元〉 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-24-16 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konnjiki.jp/



気がつきにくい子どもの貧困



11月8日、第12回千葉県子どもの人権懇話会」に出席してきました。
今回のテーマは「子どもの貧困問題」。

『日本の子どもの6人に1人が貧困』ということは、みなさん新聞やTVのニュースなどで耳にすることはあると思います。でもそれを実感として感じている方は少ないのではないのでしょうか。飢餓に苦しみ痩せ細った子どもの姿や内戦で家も家族も失った子どもたちの映像を目にすることはありますが、日本ではそのような子どもに出会うことはほとんどありません。どこか遠い国の出来事としか感じられません。そもそもこの貧困ってどういう状態のことなのでしょうか？



貧困って何？

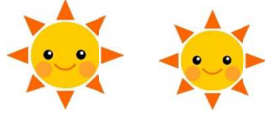
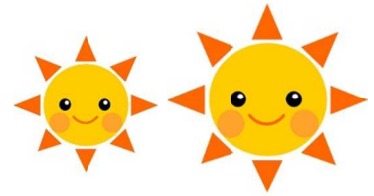
平成25年の国民生活基礎調査によると、平成24年の国民の所得の中央値は244万円。その半分の額が貧困線となります。(国民一人ひとりの所得を計算して順番に並べ、真ん中の人所得の半分に満たない額)つまり、年間の手取り収入が122万円以下の人を貧困と考えます。(平成21年は125万円でした)2人世帯は172万円・3人世帯では211万円・4人世帯では244万円となります。国全体が非常に厳しい状態なのではなく、日本の場合は、収入の多い人と経済的に困ってる人の格差が非常に大きいということなのです。とりわけ、ひとり親世帯(母子家庭や父子家庭)の貧困率は54.6%でOECD34か国のなかでも最悪の結果(ワースト2位)が出ています。



見えづらい日本の貧困

千葉県内でも今年の夏、母親が中学生の娘を殺してしまうという悲しい事件がありました。Aさんは結婚前からの夫の借金(消費者金融)を肩代わりするため、両親には相談せずに両親と自分名義の家を抵当に借金をしてしまいました。夫に返済させようとはしましたが、結局その後離婚。千葉県内の知らない町で給食調理のパート勤務を始めましたが、収入は非常に少なく国民保険料・県営住宅の家賃が滞納になってしまいました。家賃滞納のための住宅明け渡しの日、自殺を考え娘さんを殺害してしまった事件です。お嬢さんは非常に活発で、顧問の先生は「これまでバレ一部のユニフォーム代も遠征費もきちんと払っていたので、ここまで困窮していたことに全く気付かなかった。」と話していました。後に申請をすれば住宅の明け渡しも避けられたことが分かっているそうです。貧困状態になると援助欲求が低くなり、周囲に助けを求めなくなります。「まだ、大丈夫。」「自分が頑張れば。」「自分が悪い。」と孤立してしまいます。私たちや地域でできることはないのでしょうか？
(来月号でもつづきを書きたいと思います。 記 安藤)

太陽のエネルギーは



やっぱり明るいね！

11月のあそび塾は「秋の自然散策」の予定でしたが、学校行事や参観日と重なってしまい、急遽「親子エネルギー教室」に変更しました。急な変更でしたが、9名の子ども達と海浜幕張駅まで電車に乗り参加してきました。

エネルギーって何だろう？親子で考えよう！



初めに「エネルギーって何なのか？」考え、私たちの周りにどんなものがあるのかを、親子で話し合いました。

動かす・・・扇風機・電車・洗濯機

温める・・・エアコン・ホットカーペット・電子レンジ

明るく・・・電灯・灯台・ネオン

蓄える・・・パソコン・電池・スマホ

いろいろな意見が出ました。

次に一人ひとりに用意してもらった「手回し発電機」をみんなで回してみました。1分間回し続けるのは結構大変だったけど、電気がついた。一人でも電気は作れるのだね。「でもこれを1日中回し続けるのはとても大変なので、発電所があるんだよ。」と教えてもらいました。



火力発電の仕組みと困ったこと・・・

火力発電の仕組みを図を見ながら教えてもらいました。

石炭を燃料にする場合、粉状にした石炭を燃やし水蒸気を発生させます。その蒸気でタービンを回転させ発電します。タービンの回転が発電のポイントなんですね。

火力発電の困った点もあります。大気を汚染してしまうことです。また、石油や石炭やガスなど、ほとんどの燃料を日本は外国から輸入しています。しかもこれらの燃料はこのままとり続けると100年ぐらいでなくなってしまうのです。「君たちの子どもや孫の代までにはもう取れなくなってしまうんだよ。」という話を聞き、びっくりする子もいました。



ソーラー発電や風力発電は？

ではソーラー(太陽光)発電や風力発電の長所と短所はどんなことでしょうか？これも親子で話し合いました。長所として出された意見は、環境を汚さないということ。それから、枯渇(尽きてなくなる)することがないことでした。太陽の光も風も環境を汚染することもないし、なくなることもありません。でも短所もあ

ります。ソーラーは夜間の発電ができないし、雨や曇りの日は発電量が低くなってしまいます。風の弱い日も風力発電の発電量は少なくなってしまいます。

宇宙で発電する計画も・・・！

なんと宇宙にソーラーパネルを打ち上げ、電気を地球に送るといふ壮大な計画もあるそうです。そうしたら、天候に関係なくいつでも電気を供給することができますが、それが実現するのは何年先になることでしょうか。でも、このまま火力発電でCO₂(二酸化炭素)を出し続けると温暖化で地球がどんどん暑くなり、大型台風が増えたり作物が取れなくなってしまいます。



ソーラーランタンを作ってみよう！

いよいよ準備してもらった材料を使って、ソーラーランタンを作ります。ひとつずつ丁寧に教えてもらいますが、低学年にとっては結構難しいところもありました。

MちゃんとIちゃんは間違えないように、何度も確認しながら慎重に組み立てていきました。プラスとマイナスを間違えないように・・・みんなお父さんやお母さんに手伝ってもらいながら頑張りました。

太陽のエネルギーはすごいね！

組み立てが完了したら、蓋の上につけたソーラーで電池がつくか、試してみます。窓際に行き、ソーラーパネルを太陽の光にあてると豆電球が明るく光りました。ぼんやり光るのかなと思っていましたが、予想以上の明るさにびっくりしました。これなら、夜、枕元のランタンの光だけでも本が読めそうです。太陽の光はソーラーパネルから繋いだ乾電池の中に溜まるので、スイッチを入れれば夜でもランタンは明るく光ります。



最後にシールを貼ったりマジックで文字を描いたりして、ランタンをきれいに仕上げました。HちゃんやAちゃんは手で持てるように紐をつけました。Rくんはランタンの底にもマジックで模様を描いたので、光をつけるとランタンの下に影絵のようにきれいな模様が浮かび上がりました。

部屋を暗くして、みんなで一斉にランタンに灯をとると皆のランタンが美しく光り幻想的な雰囲気になりました。

(記 安藤)



こどものまち スマイルグリーンシティ 開催決定！



2016年3月20日（日）10:00～15:00
あすみが丘バースモール（土気駅前 野外）
2016年3月21日（祝）10:00～15:00
あすみが丘プラザ（室内）

今回は あすみが丘の2か所で1日ずつ開催。
従来開催してきた土気駅前のバースモールに加え、
2日目は「あすみが丘プラザ」の室内開催！
雨や強風の心配なく存分に楽しめますね～
子どもが主役、子どもが作る、子どもの街♪

こども店長になりませんか？
当日ボランティアも募集中！
（高校生～大人のかたで半日でもOKです）

詳しいお問い合わせはTEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp



前回の様子は
こちらで見れます